

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立鴻巣女子高等学校)

目指す学校像	(1) 自立した女性の育成 (2) スペシャリストの育成
--------	------------------------------

重点目標	1 学力向上と授業改善 2 主体的な進路実現を支援する指導の充実 3 特別活動と生徒指導の充実 4 開かれた学校づくりの推進
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	学力向上指針である「授業5原則」「CLEAN THE TABLE」「朝読書」が浸透し、生徒は学習活動に落ち着いて取り組んでいる。今年度は、生徒の主体的な学習意欲を高めるために、基礎基本を重視した「分かる、伸ばす」学習指導を更に推進する。	(1)効果的な学習指導による、学習意欲の向上と自主的な学習時間の増加	①学力向上指針を徹底し、積極的に学習に取り組もうとする生徒を増加させる。 ②「朝読書」に関する新たな取組を実施する。 ③完全下校時刻を徹底し家庭での学習時間を確保する。 ④授業公開週間等、教員の学び合いを充実する。 ⑤県の事業等を活用し、様々な指導方法に取り組む。	①「授業5原則」「CLEAN THE TABLE」にしっかり取り組む生徒の割合(85%以上) ②「朝読書」に積極的に取り組む生徒の割合(80%以上) ③家庭学習を毎日する生徒の割合(60%以上) ④⑤授業改善に関する生徒アンケート結果による本年度成果と前年度比較			
	普通科では特色化を図るために従来の取組を充実させるとともに、生徒の活躍の場を広げて、充実感や達成感を身につけさせる。	(2)普通科の特色化と充実	①特別活動や地域との連携等で活躍の場を設定し、達成感や自己肯定感を向上させる。 ②各種補習や資格取得に向けた指導を充実させる。	①生徒の活躍の場の設定 ②補習時間の増加及び各種検定合格者の増加			
	専門学科ではスペシャリスト育成と高度な資格取得を図っている。指導力の向上を更に進め、専門性の深化と高い検定合格率を維持する。	(3)専門学科の充実と資格取得の高度化	①県事業等を積極的に活用し指導方法の改善を進める。 ②個別指導の充実を図り、検定合格率維持を目指す。	①県の事業への積極的参加と指導法改善への具体的取組成果 ②資格取得に向け意欲的に取り組んでいる生徒の割合(85%以上) ③家庭に関する技術検定各級の合格率と三冠王取得者率の高水準維持			
2	生徒の進路実現が主体的になされるように、生徒を支援する進学指導、就職指導を実践している。今年度も3年間を通した指導や適切な情報提供を行う。また、「総合的な学習の時間」の工夫等を行い、進路意識を高めていく。	進路指導満足度の向上と進路実現	①校外での進路説明会等へ積極的に参加させる。 ②進路の手引きを様々な機会に活用する。 ③個別相談等、個々に進路意識を高める取組を充実させる。	①進路意識を高めた生徒の割合(90%以上) ②進路の手引きの定期的な活用 ③進路未決定者の割合の減少			
3	特別活動の実施には、多くの生徒が関わりを持てるように取り組んでいる。その成果があり、学校行事に積極的に参加する生徒が増加している。今年度は学校行事の一層の充実と、部活動の活性化を図る取組を仕組んでいく。	(1)生徒の自主的活動の充実と部活動の活性化	①各行事総括やアンケート結果をもとに特別活動の工夫改善を実施する。 ②予算編成を工夫し各活動の活性化を図る。	①学校行事に積極的に参加している生徒の割合(90%以上) ②部活動に積極的に参加している生徒の割合(70%以上) ③部活動の活動成果や各種大会等の実績向上			
	挨拶の励行、身だしなみ指導等を徹底して、基本的生活習慣は良好に改善してきている。その一方、悩みや課題を抱える生徒が増加傾向にある。継続して基本的生活習慣の指導の充実を図るとともに、教育相談が組織的に進めるように仕組んでいく。	(2)基本的生活習慣の指導と教育相談活動の充実	①学校全体で積極的な挨拶を励行する。 ②指導の重点目標を定期的に設定し、指導の重点化を図る。 ③時間を守ることを徹底し、遅刻者数を減少する。 ④教育相談体制の構築を図る。	①挨拶をきちんとしている生徒の割合(90%以上) ②身だしなみがきちんとしている生徒の割合(95%以上) ③遅刻者数の前年度比較 ④教育相談に関するアンケート項目の肯定的回答(70%以上)			
4	PTA 関連の会議や委員会活動は参加者が年々増加している。引き続き生徒の成長を促すような活動となるように改善したり、保護者の来校機会が増加したりする取組を充実させる。また、一斉メール配信を有効活用して、学校運営の円滑化を図る。	(1)生徒の成長と学校生活の充実をサポートする活動の推進	①従来の案内のほか、HPや一斉メール配信を活用し、活動をPR、周知する。 ②進路見学会、研修旅行、研修会等、内容の検証と改善を行う。	①PTA活動に関するHPや一斉メール配信の定期的活用。 ②PTA活動の充実と各行事参加者数の増加			
	各種学校との交流や地域催し物への参加、また、HPの更新や学校便りの地域配布等、積極的に開かれた学校づくりを行っている。今年度も取組を充実して、地域に信頼される学校づくりを推進する。	(2)地域に愛され信頼される学校づくりの推進	①学校説明会、文化祭、出前授業、鴻女通信の発行等、様々な機会を利用して学校の特色を発信する。 ②地域の小中学校や企業との連携、各種のイベント参加等、積極的に行う。	①各種取組の参加者数増加 ②地域交流に関する生徒アンケート結果や取組成果の検証			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		

